

宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について

1 課題の整理

これまで、地区懇談会や市民説明会、パブリックコメントなどで、地域の皆様から多くのご質問、ご意見をいただきました。また、委員の皆様からも、検討課題について提案をしていただきました。そうした意見を集約し分類すると、下表のとおりとなります。

学校統合地区検討会議では、これまでにいただいたご質問やご意見に対し、根拠となるデータ等をお示しして市の見解を説明するとともに、市政の現状について共通認識を持った上で、各課題について検討をしていきたいと考えています。

【検討課題の分類表】

No.	分類	市が設定した課題	委員から提案があった課題
1	まちづくり		<ul style="list-style-type: none"> 宮寺・二本木地区の将来ビジョン 都市整備、道路、農業振興地域（農用地） 人口減少対策
2	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> 河川増水時の安全対策 	
3	計画等の周知		<ul style="list-style-type: none"> 統合スケジュール等事業計画の周知
4	通学上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 通学距離が長くなることへの対応 交通・防犯上の安全確保策 国道 16 号横断の安全確保策 通学手段 	<ul style="list-style-type: none"> 安全確保策 通学手段
5	新たな学校のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の充実（ソフトウェア） 校舎等の老朽化対策、学校の規模、備える機能等（ハードウェア） 	<ul style="list-style-type: none"> 特色のある教育方針、運営方針の検討
6	統合時の課題	<ul style="list-style-type: none"> 統合の進め方、手順 	
7	地域や人へのケア	<ul style="list-style-type: none"> 在校生・卒業生へのケア 学校名等 	

2 課題に対する説明資料

検討会議で配付した資料と「1 検討課題の整理」の「検討課題の分類表」に示した「分類」との関係性は下表のとおりです。

この表は、検討会議終了後、データを順次加え更新していくこととします。

検討会議	資料番号	資料名	分類
第2回		入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）第2回説明資料	1 まちづくり等
	説明資料補足①	宮寺・二本木地区 丁字別人口推移	1 まちづくり等
	説明資料補足②	入間市防災マップ（宮寺・二本木地区）※縮刷	2 防災対策 4 通学上の課題
第3回	資料3-1	第6次 入間市総合計画 前期基本計画（抜粋）	1 まちづくり等
	資料3-2	入間市都市計画マスタープラン改訂版（抜粋）・改訂版概要	1 まちづくり等
	資料3-3	上藤沢・林・宮寺間新設道路計画説明図	1 まちづくり等
	資料3-4	三ヶ島工業団地周辺地区における産業団地創出に係る説明会の開催について	1 まちづくり等
	資料3-5	入間市農業振興地域農用地利用計画図（部分）	1 まちづくり等
	資料3-6	農業振興地域農用地について	1 まちづくり等
	資料3-7	狭山台土地区画整理事業地内（住居系）の土地利用の状況	1 まちづくり等

検討会議における検討事項について（宮寺・二本木地区）

検討事項について、各委員から寄せられたご意見等は次のとおりです。

No.	記載事項
1	<p>新しい小学校がどのような特色ある教育を行うか。 宮寺・二本木らしいということも含め、教育方針、運営方針など。</p>
2	<p>統合の進め方（適切な広報を） 狭山台2丁目（狭山台自治会地区）において、小学生・幼児を持つ親・転入して間もない方・新居購入で現地見学に来る方に聞いて見ました。 ○いずれも住居を購入した第一の理由は、「環境の良い小学校と中学校、歩道が完備した通学の安全」であるといいます。その若い人々の多くは、統合の進捗状況を正確に承知しておらず、現状を伝えると「市の区画整理事業で拓いた住宅地区の住居率が60～70%にもならないのに区画整理事業を途中放棄するのか」と怒りの声を上げる方もいます。住宅販売会社も、狭山小学校や武蔵中学校の環境と歩道完備の通学路を相変わらずうたっており、みどり台・狭山台の人口増加が始まったばかり、合せて1000世帯にもなる中で、「中間地点に統合」はあり得ない話の様に感じています。夢をもって新居を購入して突然知らされたり、知らずに新居を購入する方々がでているように思います。 狭山台2丁目だけでも100名の小学生がいて「狭山小がなくなる。そんなはずはない」と思い込んでいます。今、若い方は、新聞も購入せず、自治会にも入らず、生活圏の情報に疎くなっています。日々忙しく働く若い家庭の夢を壊さないようにしたいものです。</p>